

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.



III. 8

PLEASE RETAIN  
ORIGINAL ORDER



## スローカンバ - 南部教区

小宮山孝牧師

この教区は大戦前後による沿岸  
から日本人が移動して来<sup>て</sup>た<sup>ため</sup>に  
出来たものでスローカンバ・ベーム  
ポプオフとシモウリーキ抑留所  
を含む地域であった。

合同教区は~~シモウリーキを本校として~~  
として小宮山<sup>私</sup>孝牧師<sup>と</sup>と~~任命し~~婦  
人伝道會のハート<sup>私</sup>とビヤートハート  
ハート<sup>私</sup>の二嬢を任命した。  
一九四二年十一月一日小宮山<sup>私</sup>牧師  
がシモウリーキに到着した~~時~~は<sup>色</sup>  
ミスハートが~~正に幼稚園保安委~~  
員會からあてがわれた宮で幼稚園

ACID-FREE  
85  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



を創めておられた、十一月三日に鈴木  
八重、高橋タツ子、五郎丸愛子、三嬢  
とハート女史<sup>と私とが</sup>に<sup>と</sup>教師<sup>と</sup>と<sup>が</sup>會合し日曜學  
校<sup>を</sup>政<sup>府</sup>が<sup>の</sup>小學校を始められる  
迄の學校を作る相談會を~~開~~いた。

爾<sup>後</sup>に日曜學校を開校した時  
はたい<sup>大</sup>少<sup>小</sup>の年齢の子供が四十  
六名出席したといけであつたが一九二五  
年の四月には<sup>この日曜學校の</sup>平均出席数二百十七名  
とあつた。

合同教會では政府~~で~~作る學  
校が準備出来るまで~~小~~學第一級から  
第四級までの小學校を開く事決  
定した。此の四學級の教師と  
して高橋タツ子、五郎丸三子  
田辺三子、ハート諸嬢が奉仕

ACID-FREE  
86  
THE LOCKPORT CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



してられた。この学校は一九三四年  
の春まで続けられた。

レモングリープで最初の礼拝を  
した時には僅か八名出席しただけ  
であつたが一九三五年平均出席  
者四十名になつてゐた。そして

特別行事の場合には<sup>金曜</sup>自名に及ぶ  
事もあつた。礼拝は英語と日本語  
隔週交互に行はれた。

サロークの教区の前元牧師がレモン  
グリープに毎月一回来られ日本語の  
礼拝をもたれる一方小<sup>私</sup>笠山牧師  
がニースデバに月一回出張して英  
語礼拝を行つた。この方法は一九  
四四年の三月野本牧師が病気に罹  
つたのを以て続けられた。







また ~~事務~~ 倶楽部、五男五女  
の ~~会~~<sup>会</sup> を持った。

婦人会はレモングレープ及びパーラム  
で集会をした ~~カサミチ~~<sup>カサミチ</sup> ~~カサミチ~~<sup>カサミチ</sup> ~~カサミチ~~<sup>カサミチ</sup>  
レモングレープで開かれた。

一九五二年春、政村は各抑留  
所で日々へ帰る希望者の  
~~事務~~<sup>事務</sup> を受け付けはじめた、

その結果として力多社在 <sup>住</sup> 市  
子 <sup>各地の抑留所</sup> 者 <sup>は全部</sup> は ~~ニエーバ~~<sup>ニエーバ</sup> ~~へ~~<sup>へ</sup> ~~移された~~<sup>移された</sup>

た。 ~~小島山牧師~~<sup>小島山</sup> も一九五二年  
の十月にニエーバに移す

した。レモングレープの伝道所

事業は一九五二年の暮まで続

⑤ けられた。神学生士田俊平

ACID-FREE  
PA 85  
THE MILLER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



氏は一九二六年の春に元々、  
に<sup>の</sup>信<sup>信</sup>令<sup>令</sup>を<sup>これ</sup>異<sup>異</sup>の終り迄<sup>迄</sup>つらいた。

~~信令~~それから<sup>信令</sup>信令<sup>信令</sup>同地  
の抑留中では信令<sup>信令</sup>を<sup>これ</sup>ら  
にまつた。力<sup>力</sup>に<sup>に</sup>居<sup>居</sup>残<sup>残</sup>りたい人々

は~~一九二六年の信令~~信令<sup>信令</sup>ニ  
テ<sup>テ</sup>少<sup>少</sup>に<sup>に</sup>信<sup>信</sup>令<sup>令</sup>を<sup>これ</sup>ら<sup>ら</sup>士<sup>士</sup>兵<sup>兵</sup>教<sup>教</sup>令<sup>令</sup>員<sup>員</sup>  
は<sup>一名</sup>信<sup>信</sup>令<sup>令</sup>に<sup>に</sup>信<sup>信</sup>令<sup>令</sup>を<sup>これ</sup>ら<sup>ら</sup>士<sup>士</sup>兵<sup>兵</sup>教<sup>教</sup>令<sup>令</sup>員<sup>員</sup>  
は<sup>七十一名</sup>から<sup>一</sup>人<sup>人</sup>に<sup>に</sup>増<sup>増</sup>加<sup>加</sup>した。

ニテ<sup>ニテ</sup>少<sup>少</sup>の<sup>の</sup>教<sup>教</sup>令<sup>令</sup>は<sup>は</sup>六<sup>六</sup>人<sup>人</sup>の<sup>の</sup>座<sup>座</sup>席<sup>席</sup>

しか<sup>しか</sup>に<sup>に</sup>と<sup>と</sup>こ<sup>こ</sup>へ<sup>へ</sup>毎<sup>毎</sup>日<sup>日</sup>曜<sup>曜</sup>、七<sup>七</sup>人<sup>人</sup>以<sup>以</sup>上<sup>上</sup>

来る<sup>来る</sup>ので<sup>ので</sup>毎<sup>毎</sup>日<sup>日</sup>曜<sup>曜</sup>立<sup>立</sup>つて<sup>て</sup>い<sup>い</sup>た<sup>た</sup>け<sup>け</sup>れ

は<sup>は</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>。そ<sup>そ</sup>こ<sup>こ</sup>で<sup>で</sup>信<sup>信</sup>令<sup>令</sup>は<sup>は</sup>午<sup>午</sup>三<sup>三</sup>

時<sup>時</sup>から<sup>から</sup>始<sup>始</sup>まる<sup>る</sup>礼<sup>礼</sup>拜<sup>拜</sup>に<sup>に</sup>一<sup>一</sup>時<sup>時</sup>から<sup>から</sup>水<sup>水</sup>曜<sup>曜</sup>日<sup>日</sup>

しか<sup>しか</sup>け<sup>け</sup>る<sup>る</sup>始<sup>始</sup>末<sup>末</sup>で<sup>で</sup>あ<sup>あ</sup>つ<sup>つ</sup>た。<sup>中<sup>中</sup>に<sup>に</sup>信<sup>信</sup>令<sup>令</sup>を<sup>これ</sup>ら<sup>ら</sup>士<sup>士</sup>兵<sup>兵</sup>教<sup>教</sup>令<sup>令</sup>員<sup>員</sup></sup>

にも<sup>にも</sup>四<sup>四</sup>十<sup>十</sup>名<sup>名</sup>以<sup>以</sup>上<sup>上</sup>信<sup>信</sup>令<sup>令</sup>を<sup>これ</sup>ら<sup>ら</sup>士<sup>士</sup>兵<sup>兵</sup>教<sup>教</sup>令<sup>令</sup>員<sup>員</sup>

は<sup>は</sup>沢<sup>沢</sup>山<sup>山</sup>の<sup>の</sup>人<sup>人</sup>は<sup>は</sup>証<sup>証</sup>詞<sup>詞</sup>を<sup>を</sup>す<sup>す</sup>る<sup>る</sup>た<sup>た</sup>め<sup>め</sup>に<sup>に</sup>同<sup>同</sup>時<sup>時</sup>に<sup>に</sup>

ACID-FREE  
PA 86  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



立ち上る中で、~~森永~~ <sup>森永</sup>は誰に指名  
すべしかに困る程であった。

牧師と傳道師は一週一回交代  
でロースベリーへ傳道に出張した

一九二六年四月に小宮山牧師は  
日系人の教区の責任をもちた事を  
ニエーデバールの白人教会の牧師に  
兼ねることにあつた。

一九二六年十一月小宮山牧師  
は本部からモントリオールへ移任を  
命ぜられた。その後小宮山  
牧師がニエーデバール方面に時  
おり出張傳道 ~~した~~ <sup>した</sup>。



Y. YAMAGA

NO.

序  
 一九五六年四月、私は東京の途中、ウサニ  
 及び市に下宿し、レトリックの岸辺の閑静な  
 寓居に、病める旧師赤川美盈牧師を冠戴した。  
 前年寒如としてヤス、夫人に先立たれた寂し  
 さと、就時移勅以果の無理押しの結果、病床  
 の人とあつておられ、市街の衛生課に勤務中  
 のル不嬢と親子二人きりの泥び住ひ、私の東  
 訪を非常に花ばれ種々世間話しの末、儼々身  
 体加少しよくあつたら書きたとめた、と思つ

10X20



NO.

Y. YAMAGA

眼ある事があると言はれた、私は何を  
 のかを見ぬか、た、先生、  
 十月廿一日永眠せられた。蘇俄の増徴の  
 時、先生の遺稿を調べると、たの一文が私  
 の眼を刺した。―彼れ（自分の事）も早晩に  
 辞世、埋没さるべき運命のうちにあるを想ひ  
 今尚ほ残存する記憶の緒をたぐつて、  
 有思ひ出せ、後者の爲めに記す事とする―と  
 先生は非常に筆を動かして、一九一〇年以來  
 の日記から蒐集されたものであうと思はれる教

10x20







Y. YAMAGA

NO.

監督をあたふたオス多ハウト博士著「力十」  
能ける東洋人」等を参考にして年代順に初代、  
戦前、戦時、戦後に分けて編纂した。  
今は故人と成りわたる十<sup>赤川先生外</sup>人の教役者、十二  
人の信徒伝道師の靈前に本書を捧げる

10X20

力十  
日野人  
全国教会史編纂委員会



一九六一年六月

力多目系合同教会史

編集委員会

THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



# 教令「史籍纂要」委員会

一九六〇年三月十七日、トロントYW

シムに於てチャリタブル・ハウス・ユース

のミーティングに出席午後五時半から金龍

樓で清水、西村、自分と三人會食後

自分の書いた原稿と「史」の寄稿文

の綴紙綴とを清水先生に渡し採削

して貰ふ事とし八時前に別れ帰る

一九六〇年四月八日、ベルモント・ハウス

でベルモント・ハウスの集會「三・五」

五時半からドー・グリー・ワットの清水先生

の教令に於て小宮山先生、清水先生

西村夫人と共に清水の由馳走にあり

八時十五分前後、原稿の排列に關

し回次を協議し、五月九日より

十五日迄のベル・ハウスの牧師・信徒大會

ACID-FREE  
PA 65  
THE LANGRISH CORPORATION  
ARLINGTON, VIRG. 22204



へ授意する事項を決定した。大所の中  
をバスステーション近く先生が送つて  
くれた

六月十三日、二ツ木ニヤ 木一六に午  
後一時半より集會、出席者

清水博士、則未、村田、山宮山四

牧師に西村トミ夫人、山家一六

西村夫人、史原稻初めより朗読

誤謬を正し、以下ハ七代牧師

即ち清水牧師時代迄通説

一、清水牧師時代に於て教會の自給

教會と云ふは顯示及び博士号授

与を以て近の概略を今少し入

水あり(則未先生受持ち) 未

二、京都府警察所記の統計 完

ACID-FREE  
85  
THE LULLINGER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



を削除し長短を。

三、フエヤビエ<sup>(金)</sup>教會の成立願書を

村田先生執筆の事<sup>(完)</sup>

四、過去現在の教役者、オス、

ハウト博士、婦人傳道會の他、

の要員を入れる事<sup>(完)</sup>

五、他派の活動状況を略記する事<sup>(完)</sup>

六、各教會の寄附は長短不同

にして均衡を失し<sup>(完)</sup>其新委員会

は責任を負ふ不能、別に総論

として新委員会名義で結言とし

て巻頭に入れる事<sup>(完)</sup> (山家執筆)

五時おーひの畑に出果た野菜を夕食  
に食す。ミチを清水じくター中流す

ACID-FREE  
85  
THE LINCOLN CORPORATION  
ARLINGTON, VIRG. 22204



一九六〇年六月廿一日

歴史(教会)編集委員会 二系三

本日の開催(午後一時半)

出席者: 清水博士、小宮山、則本、村岡  
山家 西村

六月十三日の定題に關し。

一、清水博士より「エヤロエ」教会の

成立、自給教会実施について

の記事提供あり(完)

二、タリニツク銃年数字の削減(完)

三、丁代監督の学具減は~~減~~名電

入あり。(清水)(完)

四、オスワハルト博士の「エヤロエ」(清水)(完)

五、山家提議の諸言を少し、添加

しを承認、同じく他派の活動

に關してハルタ、オカサカンの記事

ACID-FREE  
86  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRG. 22204



追加して承認する 完

六、西村夫人の授課 ステップアップの二つ

の原稿を一つにする事 (山本 完 責任)

七、英語の出版は一時棚上げし、成る

べく早く日本語版を出版する事

追加、削減が出来た上は、おんごう

坂手倫吉 David 336 St Jones ave Wpgm

八、出版に関する交渉をする事 七六

八、他紙の活動中、キリスト教同盟会  
の協同増進の事記入する

九、一史の印刷部数は一千部と

する事

一六六〇、坂出氏へ総額十数万

七、六に付する印刷費見積りの

依頼状を出す

八、二の漢水先生と序文原稿

を送致する

それに関し、漢水先生へ意見陳情  
の筆紙出す

ACID-FREE  
86  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRG. 22201



一九六〇年八月五日

教会使委員会(日本三木公会事務所)

出席者、清水牧師、西村登美、山家

ポール集本信託開始年代一八九八

と推定  
サツバトに開拓当時の(享年享年(山家))  
アール女史引退年四十九

三井友屋両牧師に寄附を要請  
した事を承認

日系教会の現状表授入の事

タビタの記、ライヤの女史とマウ  
先生典両方を入れる事

緒言を英訳として増補に  
序文を改ふこと(清水責任)

二世教会のア史(清水)

姫市、ト市、ハ市、无市、それ  
教会史へ補足する事に決す

この日、樺山牧師夫妻及び西村正一  
氏同道をこれに委員会に列せず

THE ROLLINGER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRG. 22204



- 一、部類 一ノ部、
- 二、仕上り希望期日
- 三、各送先、  
アルタビーニ  
トロット
- 四、校正方法、寄致師謝礼
- 五、支払方法 L.C.
- 六、値段は C.I.F. か F.O.B. か
- 七、原稿發送期日 九月末
- 八、ルに付けるや否や、一任し

八月十三日

1960

一、清水博士、しり四角中へ

一、寄致師に教み校訂する可。

一、月分より大兼認

一、ルに任しに決定

一、東京、赤川、八枚、記号へ入る。

一、午前三時中より原稿送致  
グリニウク送致送り

THE ROLLER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



Aug 9.45 Standard PM  
Canadian  
Tatsu Okamoto

150

$$\begin{array}{r} 360 \overline{) 254.627} \quad \underline{708} \\ 2160 \end{array}$$

386

2822

2627

2880

ALD-FR  
66  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARMINGTON, VIRGINIA



一九六〇、七月六日市坂市倫吉氏に一史

市川氏籍へ依頼状發送

一九六〇、八月六日

製本見本、印刷費材料費見積  
り坂市氏より受取り、直ちに清水先生  
、西村両方へ通知(即時)

八月九日通話に依り十三日委員会(岡田隆決定)  
八月十二日清水博士より結言及目次の英訳  
来る

一九六〇年八月十三日(土)

敬会一史委員会

出席者 清水博士、山家、西村氏  
陪席 田中氏、鈴木氏

初頭、原稿に關する所員の諸項  
を協議決定す。  
山家氏より坂市氏に傳達すること

校正は著者氏に依頼し、日度渡かに  
依頼する事

五時過ぎ夕食

THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



一九五〇・八・四日

坂田氏へ委員会決定事項を  
申送る。

一、印刷部数 一千部

二、仕上り希望期日 普通工程で与えらるゝ

三、送り先 吾分、バスターとトロット（送る様  
多々と思ふ）

四、校正 系稿の略に書いてから日数を  
以て頼むと誰か頼む方には頼みしたい謝

五、支払は人ごとよし、半金前納可

六、値段はじ工下トロットとバスター

七、系稿希望期日九月末

八、活字はゴシックに決定

九、制本数及残額 〓 見せ通し

十、字表版は十枚以内

ACID FREE  
85  
THE ROLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



一九六〇年九月十九日午後三時—九時迄

ニッポニヤホムに於て開催

出席者、清水、小宮山、村田三牧師  
西村夫人、山家、

前回同様大要説明

一、表紙、扉、芋、~~校正~~訂正、承認

一、校正の重要性に基き最終校正は力加ふ

一、字表は 西武部協議会、牧師信徒協議会

クリニック、トリートメント本部幹部

加久川先生と牧師、ソル聯合会

鈴木 二世教会(1936)

ソルエツ、オリエエホー山清

W M Sの人名清水委員

一、エツ増せに序文を催促する事、清

一、晩市書庫に保管中の教会記録を送る

其ふやうな文書とする事、清

一、西村夫人通読語る

新西院、美市、ス村、オ村、オカナガ

フレカ—にオリエエホー山、立退きと教会

ハステツグバーク、クシ、

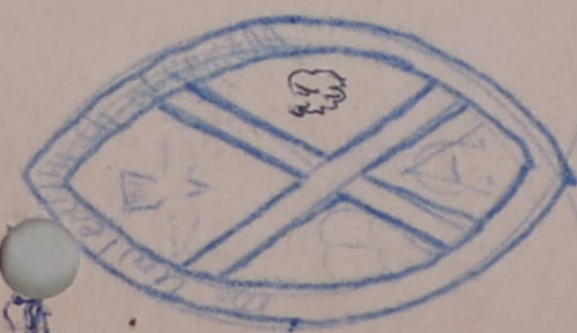
次回は九月廿五早より開催の事。

ACID-FREE  
THE KOLLER CORP. CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



目次 合同教会史

歴史編集委員会



ACID-FREE  
PAPER  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



The History  
of the Japanese Congregation of  
the United Church of Canada  
1892-1960

目系人合同教會史一九六〇  
一九六〇

日系牧師信徒協議會

歴史編纂委員会

ACID-FREE  
THE INKLETER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



~~878 A 57 141~~[illegible]

82 St Clair Ave Toronto



## 一 史 委 員 会

一九六〇、九月廿七日 午前十時—六時

ニッポホニヤ ホールにて開催  
出席者 小宮山、清水、西村、山家、牧師

前回議事録承認

一 ス村ノ史の修正「国本、山村等の協力を

一 WMS から序文を貰ふ事 清水托  
得て齋庭迄は道所を設け

一 協議会委員長の名に依つて序文を貰ふ事

一 校正は印刷所側へ頼む事を再討議

一 本書の売上額を二弗にしようとの提案あり  
後日決定の事

一 字彙の解説を清水先生より西村婦へ譲

午後二時より西村婦通読検討

クレドフォックス、クリューにレモスクリーオ

ニエーティバ、リルエット、アルバタ南部

東部再定住 モントリオール、ト市二世教団

ハミルトン、マニトバ 戦後のステグストン

附録

牧師信徒協議会、一代監牧

ビユーラー、ホーム 他家の活動

次ぎの委員会は一切揃つてから。

ACID-FREE  
85  
THE INKMAN CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



十月十二日坂出宛より来信あり清水先生  
と西村姉に回しを送る

少市のお林氏より、小倉牧師に關する  
追加稿来る、此れも西氏へ回しを送る

十月二日、トロント市に、史編纂會集會  
會を開く、出席者  
清水福士、山家山牧師、山家山西村  
午後の時半金龍樓にて昼食を共  
にし、トスターレングに要求する事  
を相談、午後一時半トロント市支部  
のレング氏事務所で見

一、支部からの補助二万五の弗は、小倉山  
牧師より要求あり、トスターレング増士より送

二、山家山より二万五の弗を小倉山牧師に  
渡し、五面弗を市支部の坂出七五  
史に、外金として送る事

三、レング大先生のアーカイブより来る  
教會記録の運賃はトロント支部  
で支払う事

四、合同教會標識はカットとしてレング  
増士より、山家山宛送る事。

Archive

大學のアーカイブに決定し、次期にトロント市  
教會のアーカイブに、二、三の外傳を所  
に、レング大先生のアーカイブより来る

ACID FREE  
PH 8.5  
THE LOCKPORT CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



十一月十九日

ト市修道部レシ知増士より来信あり、合同教會の故郷會は一時は

二時半のが已制表、ラサ街二九九の合同教

會バツリクを中て売っている故郷好みの

サ、文を注文すべしとの通知あり、

同日山家、千ヤキ三井四十仙を返し、

二時半のを注文し、

廿日 右の額本を清水先生と西村さん

に申送り、廿一日坂出氏に原稿を送

還送の理由と身長の催促を返

る。

一九六一年一月廿五日

ウ市坂出氏より来信、同氏の写真

領収、直ちにト市清水先生に送

る。

一九六一年二月六日

ハート小宮山牧師定にて新

合同催進三時出席者清水先生

西村姉、山家、小宮山

ACID-FREE  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



一使に編入すべき字句の順序を決定して解説と対照し、山家預る。

西村姉、記事の排列を報告し、表紙の色、紙質、印字の切磋をふし本文の紙質も見やうも少し安手にまじし、その他の諸条件別の通り承認する。レダグ博士の序文を英文のまゝ入れる、メイド イレ ビヤ、イレを入れる。

一、最近トロント アーカイブに到着したるビービー地方教会誌及びビービー牧師会々誌。日曜学校教師協会の記事などを通読して記事に入れる。

右は清水先生と西村姉とで責任を持たれる事にふつた。

今代表者西村姉通読承認。  
時に午後六時

ト小室山牧師宅の市聴をとり、  
又午後八時に一般婦人会し敬告

ACID-FREE  
FR 65  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



一九六二年二月六日 施小宮山宅 委員会  
東京

坂出書局様へ事前交渉要項

# 一 印刷部数

二千部

(二) 希望仕上り期日：普通工程にて成るべく

(三) 発送方法：「バスター」と  
「トロント」の海上運賃を比較  
して最廉とする

(四) 校正：文章校正だけをお願いする

(五) 出版社の撰取は「坂手さん」に一任する

(六) 仕立針：表紙は「坂手」のイメージに  
「活字」金文字。紋章

(七) 希望仕上り値段：印刷、運賃、校正費  
を含む約五万、但し多少の増減差あり

(八) 原稿発送と同時に二万五の布を送金  
すること

(九) 紙質：写真用紙は見せず、本文は見ず  
より少しサマにしておく

(十) 内容のタイトル、サブタイトル、本文、注釈  
等、活字のサイズの決定は坂手様に一任

(十一) 但し本文の活字は9ポイント以下にせよ  
今年代表は二段にして貰ふ

内容に不可解な所がある場合エロク  
で連絡して頂く



一九六一・二・廿四日 西村姉より原稿全部受取り  
廿七日 殊部写真五枚受取

二・廿八日 原稿・写真十三枚・紋章カット

四角二〇センチ、飛び書き面三種郵便で

東京都・千代田区富士見町一二。

坂出町栄称へ宛て送る

三・一 各委員及び地方教会へ原稿発送

の通知を発送す。

三・廿六 坂出姉より福音館へ依頼の通知来る

一九六一・三・一〇

東京福音館より見積り来る。運賃

約四百二十円、印刷費一冊巻部との事

仕上りは二、三ヶ月以内、支払いはゼロ十

円、棒山先生にとの事。

即日、四・一 委員に四状を送り

福音館へ直ちに仕上り着年する称

エログラムを出す

東京都・千代田区神田三ツ町

福音館書店 佐村花一

編集部 尾能徳三

ACID FREE  
85  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA







一九六二・五・廿六日來信

一、地圖を入れては如何

二、在日贈呈先の名称を送る事

三、地名・人名の表記不統一のもの  
訂正送る

凡、福音館「元在日が合同教会宣教師社団書誌」  
を入れる許可 OK.

一九六二・六月一日・清水牧師と協議の上、西条

牧師の「福音」の記号は編入せざる事に決し

そのら福音館へ通告・同時に教会所在地圖

を日方へ送る

一九六二年六月五日・西村姉より・西条牧師に聞

する附記を送り来る・もし巻末にでも入る事

入れて貰ひたいと その記号を同日飛行便で発送す

一九六二・六・三 來信

。地圖を急いで送る事

。追加原稿二頁 OK.

。野元キク女史に一読して貰ったから社誌に

。社長「合同教会史」の出版を引受けしての一文を  
入れる(はさむ) OK.

ACID FREE  
85  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRG. 22201



一九六二・六・九日附六三受信

字彙第五号の換列に七人写っており

解説には六人?

六二見 小倉豊牧師の名前投入  
方、直ちに返す

一九六二・六・十五日

東京福音館より来信

第二校を終へ印刷へ廻した由

佐藤氏一社長の「教会史」の印刷費を

を引受けしという一文、なすへ授けむ

希望、全文をコピーし清水先生に送付

師へ郵送しとく

一九六二・七・十四日附十八日受付

一 本父の印刷は完了した

二 子集地圖はここ二三日中に印刷完了の予定

三 野城さんへの印札の件

大体五十棒の範囲内で品物

四 ケースをやめじいさんを要にした

五 増田先生住所不明は調べる、名は付送れ

六 完了次第一冊送る

ACID-FREE  
85  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



一九六〇・九・二

制衣を兄が一冊到着病床で一読  
西条先生の名が先亡追悼の頁に在る  
を弟兄、兄を清水先生に送ると共に  
訂正を急ぎ父置を依頼した。

一九六〇・九・廿日

福音館より来信  
本の代価の件 清水先生へ追送

一九六〇・十・十六日着

贈呈本十五冊分郵送料	¥1,140.
坂出姉へ一冊贈呈 本代	360.
航空書留書類 トロツト	425.
" バンク-パ	350.
兄本一冊航空送料	990.
太平洋送本運賃(バンク-パ)	16,612.
太西洋送本運賃(トロツト)	41,140.
	<hr/> 60,017.
最初の見積額	50,250.
差額	<hr/> #30 = ¥10,767

福音館の依頼に依り  
右差額を樺山先生に送る事

一九六〇・一〇・廿 清水先生より電話あり

晩市三井物産より、史の費用問合

白

金

て

75

ACID-FREE  
85  
THE HOLLINGER CORPORATION  
ARLINGTON, VIRGINIA



せあり、内地送料などを考慮し一冊二冊  
 申受ける事に決定、但し内地送料を合  
 せ。協賛館との計算不足を十冊を樺山  
 先生へ送金する事。最後の委員合  
 は西村柳の都合で決定ニッポニヤホーム  
 を開く事等を申し合せた（十月廿日の送金）

一九六一年十月十日、午後三時半  
 ニッポニヤホームにて委員会開催

Amc

出席者 清水、小室山、山内永、西村

Pai

清水牧師より、教会大使荷物トロント

Tot

着の通知税関がありたれど昨ら受取る

Amou

る不可能であったら報あり。

如何にして各教会に配布すべきかが協議

された、各教会が其の会員数に応じて

按分比例で責任を持つ。即ち

トロント 350 ハンブル 70 ニューガ 75 モントリオール 75

ACID-FREE  
 THE HOLLANDER CORPORATION  
 ARLINGTON, VIRGINIA



脊文字を書いた頃、在阿部義宗先生に

永状を出されしと (清水)

原稿の校正を依頼した野元キウ姉に

十冊謝礼の事 (山家)

In account with Mr. Yamaga  
re: Japanese History.

Amount paid out by Mr. Yamaga in connection with  
the publication:

\$949.63

Paid Mr. Yamaga:	May 23, 1962	\$200.00	
	June 26, 1962	300.00	
	January 5, 1963	<u>200.00</u>	700.00

700.00

Total yet to be paid

\$249.63

Amount left in the history account  
towards this amount to be paid:

\$186.08

ACID-FREE  
PH 8.5  
THE HOLLANDER CORPORATION  
ARMINGTON, VIRGINIA



**B-17,009,442**

KEEP THIS ORDER CE  
RECEIVED

STAMP OF ISSUING  
OFFICE

**2186**  
**DEANSVILLE**  
**DEC 5 1961**

DELAI DE RECLAMATION 12 MOIS APRES ENCAISSEMENT

DOLLARS	CENTS
10 =	

CLAIMS NOT CONSIDERED 12 MONTHS AFTER PAYMENT

FEE-DROIT  
**.18 CTS**

**CERTIFICATE OF POST OFFICE REGISTRATION**  
This receipt is necessary if enquiry is desired

DATE **280** No. **was** Postmaster **20 c.**

FEE **40c.** Against LOSS ONLY

**STAMP**

**MAXIMUM INDEMNITY PAYABLE**  
CANADA—20c. fee \$25; 30c. fee \$50; 35c. fee \$75;  
40c. fee \$100; for loss, rifling or damage.  
GREAT BRITAIN—\$8.17 for loss or rifling.  
UNITED STATES—\$25.00 for loss only.  
OTHER COUNTRIES—Information may be obtained  
at the Post Office.

**50B.—500M. Sheets—28-9-53**

**CERTIFICATE OF POST OFFICE REGISTRATION**  
*Rev Kabayama*

DATE STAMP **DEANSVILLE ONT. MAY 2 1961**

NO. **148**

**FEE** **20 c.** CHECK IF AGAINST LOSS ONLY **was** P.M. INITIALS

**MAXIMUM INDEMNITY PAYABLE**  
CANADA—20c FEE \$25  
30c FEE \$50  
35c FEE \$75  
40c FEE \$100  
UNITED STATES—\$25 LOSS ONLY  
OTHER COUNTRIES—ENQUIRE AT POST OFFICE.

**THIS RECEIPT IS NECESSARY IF ENQUIRY IS DESIRED.**

**50B—500M—1-12-58**

Amount of bill	\$949.63	200.
Repaid June 3/62		300
Repaid June 26/62		
Still to be paid	449.63	

THE POST OFFICE CORPORATION  
ARLINGTON, VA 22204